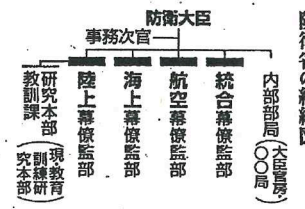


# イラク日報 尽きぬ疑問

防衛省が「ない」としてきた自衛隊のイラク派遣の際の活動報告（日報）の発見が止まらない。発端は1年以上前、当時の稲田朋美防衛相の国会答弁。防衛省・自衛隊の隠微体質に加え、実力組織に対する文民統制のありようが問われている。（五城隆雄、藤原慎一）▼一面参照

## 稲田氏「指示」徹底されず

小野寺五典防衛相は11日、存在しないとしてきた日報が新たに2日分見つかったと発表。衆院予算委員会の集中審議では、「毎日」のように前になかったと言ったものがどんでん返りして出てくる。おびしう上げたと重ねて陳謝した。防衛省がイラクの日報は存在しない、としたのは、



か」と問うた。防衛省はこれを探索の「指示」と認定している。辰巳氏は今年10日の参院外交防衛委員会で「再度探索すべき」という意味で私は思っている」と答弁したが、「指示」を受けて辰巳氏の部下が出したメールの送付先は限定され、内容もあいまいだ。辰巳氏はメールについて、

### 疑問?

- 稲田氏はなぜ「ない」と言い切ったのか
- 辰巳氏の対応は
- メールの文面と送信先が適切だったのか
- 陸自の探索は適切だったのか
- 発見事実を知っていたのは誰か
- 発見した後なのになぜ「ない」と回答したのか
- 一元化は全自衛隊に周知されていたのか
- なぜ陸幕だけが探索を始めたのか
- 統幕への報告が1カ月以上かかったのはなぜか
- 小野寺氏への報告が1カ月もかかったのはなぜか
- 調査チームの人選、対象は適切か

## イラク日報問題の主な経緯と論点

2017年2月16日	野党議員が資料要求。統合幕僚監部からの照会を受けた陸上幕僚監部が「ない」と回答
20日	衆院予算委員会で、稲田朋美防衛相が「確認したが、見つかることはできなかった」などと答弁
22日	稲田氏「イラクの「日報」は本当にないのか」と辰巳昌良・統幕総括官に口頭で探索を「指示」
	辰巳氏の部下の統幕参事官付が、統幕、陸空の両幕僚監部にメール
3月10日	陸幕から統幕へ「陸自中央即応集団司令部と陸自研究本部にも該当文書は存在しない」と回答
17日	南スーダンPKOの日報をめぐる特別防衛監察始まる
27日	研究本部教訓課で日報を発見
	防衛省が、イラク関連文書で情報開示請求を受け付け。同日以降、陸幕が研究本部に照会
30日	研究本部が「存在しない」と回答
7月28日	南スーダンPKOの日報問題で、特別防衛監察が陸自などによる隠蔽を認定。稲田氏辞任
	すべての日報を統幕に一元化する再発防止策を打ち出す
11月27日	陸幕が独自に全部隊に探索を指示
2018年1月12日	研究本部が教訓課に日報が存在したことを陸幕に報告
2月27日	陸幕が統幕に日報の存在を報告
3月31日	統幕が小野寺五典防衛相に日報の存在を報告
4月2日	小野寺氏が日報の存在を発表
4日	小野寺氏が研究本部教訓課の日報発見は「昨年3月27日」と発表。大野敏太郎防衛政務官を長とする調査チームを設置
7日	小野寺氏が全自衛隊に過去の日報の探索を通告。回答は20日まで

## 発見3日後「ない」 陸自研究本部

10日の参院外交防衛委員会で、「隠蔽」が疑われる決定的な事実も出てきた。陸自研究本部(研本、現・教育訓練研究本部)の教訓課が、昨年3月27日に日報を発見しながら、情報

## 大臣報告に1カ月 統幕

陸上幕僚監部にとまらなず、文官の対応に問題がなかったことも焦点だ。統幕から報告を受けた統幕参事官は3月27日に日報の現物を確認したが、小野寺氏への報告は31日だ。

3月は、森友学園との土地取引をめぐる財務省の公文書改ざんで、国会審議が荒れていた。今年10日の参院外交防衛委員で、民進党の牧山弘恵氏は「予算審議などへの影響を避けるために組織的に公表を遅らせたのではないかと追及、参事官の上司の鈴木敦夫総括官は1万4千字に上る日報を1枚1枚確認し、「大臣への報告に事務方として必要な作業を行った」と釈明した。小野寺氏は4月4日に大野敏太郎防衛政務官をトップに調査チームを設け、鈴木氏と大臣官房審議官、陸幕監理官がメンバーとなった。11日までに統幕7人、陸幕25人から聞き取りをした。しかし、野党は調査チームに鈴木氏が入っていることを問題視する。民進の藤田孝久氏は6日の野党合同ヒアリングで「被検者が入っていないようなもの。調査がしっかりとできるわけがない」と指摘した。小野寺氏は20日を期限に日報の探索を求め、「出さないと部隊があれば、厳しく措置する」と10日の衆院安保委員会で強調した。だが、足元からは「日報探しに追われ、部隊の動きが止まっている」と(防衛省幹部)との戸惑いも漏れる。